

# サービス学会 第4回国内大会 発表論文原稿の書き方

○学会太郎(サービス学会) 学科花子((株)(SfS))

## 1. 発表論文原稿作成方法について

### (1)国内大会Webサイトについて

発表論文原稿 (PDF形式のみ) の投稿はインターネット経由で行います。詳細については、サービス学会Webサイト内の国内大会のページ[2]をご参照ください。

### (2)Microsoft Word 2000以降の場合

このファイルsfs\_kokunai\_sample2016.docを利用して発表論文原稿を作成してください。MS WordやOSのバージョンによってはレイアウトが崩れる場合があります。そういった場合は、適宜sfs\_kokunai\_sample2016.pdfの書式に合うように発表論文原稿を作成してください。

### (3)TeXの場合

SJIS環境の方はsfs\_kokunai\_sample2016\_sjis.texとsfs\_kokunai2016\_sjis.styをお使いください。UTF8環境の方はsfs\_kokunai\_sample2016\_utf8.texとsfs\_kokunai2016\_utf8.styをお使いください。なお、TeXでは、sfs\_kokunai\_sample2016.pdfの書式とは異なる場合がございます。ご了承ください。

## 2. 発表論文原稿書式について

### 2.1 原稿枚数について

発表論文原稿は2ページ以上8ページ以内です。ファイルの容量は5Mバイトまでです。規定ページを越えるものは掲載いたしません。また、容量制限をこえるものは投稿できません。

### 2.2 構成について

テーマ、問題意識、先行研究、解決のためにとった手法、結果、実務的解釈や適用、結論などをそれぞれの分野での一般的であるとされる構成でまとめてください。経営系、工学系、学術、実務等のバックグラウンドで構成方法が大きく異なる可能性があります。それぞれの形式を尊重します。

### 2.3 和文原稿の場合

#### 2.3.1 原稿の体裁

A4版白紙に縦250mm、横170mmの枠内に収まるようにお願いします。提出された発表論文原稿は、そのまま発表論文集(Web)に掲載いたします。原稿の書き方が不適当にならないようご注意ください。詳細については、Webサイト[2]をご参照ください。

#### 2.3.2 フォントについて

- 主要箇所のフォントサイズ等は以下の通りです。
- ・和文題目 (18ポイント程度, ゴシック体)
  - ・和文著者名(登壇者に○印)と和文著者所属(12ポイント程度, 明朝体)

- ・本文 (10ポイント程度)
- ・参考文献 (9ポイント程度)

### 2.3.3 図と表について

図・表は、印刷しても問題ない程度の解像度を持ち、かつアップロードの際のファイルサイズ上限を



図1 サービス学会のロゴ

越えない大きさとなるようご注意ください。図の配置方法は図1を参考にしてください。

### 2.3.4 参考文献

文献の引用は本文中に[1]のように書き、参考文献を本文の最後にまとめて書いてください。参考文献の書式は、以下を参考にしてください。

- ・雑誌の場合:[番号] 著者: "論文題目", 雑誌名, 巻, 号, pp.始ページ-終ページ, 年.
- ・書籍の場合:[番号] 著者: 書名, 発行所, 発行年.

### 2.4 英文原稿の場合

英文原稿の執筆要綱は和文原稿のそれに準じます。英文による題目、著者名、所属(登壇者に\*印)をご記入下さい。和文による題目、著者名等は不要です。

## 3. 電子入稿の手順と締め切り日時

Webサイト[2]から発表論文原稿ファイル(PDF形式)をアップロードして頂きます。提出締め切りは**2016年1月29日(金)**となっておりますので、締め切り厳守をお願いいたします。PDF形式の作成方法等の詳細については、Webサイト[2]をご参照ください。

## 参 考 文 献

- [1] 山田太郎, 鈴木一郎: "サービス学会国内大会 発表論文原稿の書き方", Journal of Serviceology, Vol. 1, No. 1, pp.8-12, 2014.
- [2] "サービス学会第4回国内大会のウェブサイト", <http://ja.serviceology.org/events/domestic2016.html>